

2021年度 玉川脳科学ワークショップ

2022年2月21日（表彰式3月15日）

Zoom & oVice

玉川脳科学ワークショップの目的は玉川大学脳科学研究所に関わる様々な分野の教員、研究員、大学院生が一堂に会し研究発表を行い、それぞれの研究に対して意見を出し合うことでお互いの研究の発展を促すとともに大学院生の教育を行うことにある。

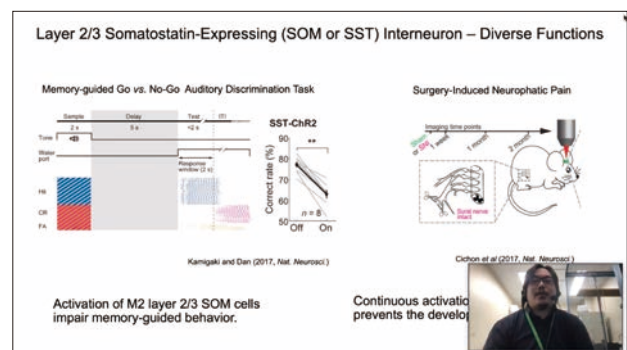
2021年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、残念ながら前年度に引き続きオンラインでの開催となった。参加者は本学大学院生（5名）、研究員（11名）、脳科学研究所に関わる教員（16名）、その他、招待講演者、元大学院生をはじめとしたゲスト（12名）の総勢44名がオンライン上で参加した。

はじめに坂上所長による本ワークショップの趣旨説明が行われ、続いて脳科学研究所に関わる教員による研究室の紹介（Flash Talk for Laboratory Introduction I）が行われた。午前中のセッションでは大学院生による Oral Session（発表10分、質疑5分）が行われ、活発な議論が行われた。



お昼休憩を挟み午後のセッションでは、教員による研究室の紹介（Flash Talk for Laboratory Introduction II）が行われた後、2021年度に脳科学研究所に着任した武井智彦先生による Special Talk I（「巧み」な身体運動制御の中樞神経メカニズム）、および京都大学高等研究

院の准教授である山本真也先生による Special Talk II（集団性の比較認知科学）が行われた。武井先生による講演では、中枢神経系がどのように身体運動制御の「難しさ」を克服しているのか、運動障害時に身体運動制御システムがどのように破綻しているのか、そして身体運動の制約が認知や行動決定にどのような影響を与えているのかについての発表がなされた。また山本真也先生からはチンパンジーとボノボの社会性に関わる研究に加え、最近行っているウマをはじめと下霊長類以外の動物の社会性に関する研究発表を行っていただくことでヒトの社会性との差異について議論が行われた。



夕方からのセッションでは研究員による Flash Talk for Poster Session（発表5分）が行われ、その後 oViceへ移動しポスターセッションが2時間行われた。参加者はオンライン上で作られた発表会場にて15件のポスター発表に参加した。

後日 Zoom 上で開催された表彰式では大学院生の寿さんが最優秀研究賞を受賞した。寿さんは、人々が示す社会的価値志向性はその人が住んでいる地域における人の流動性が影響していることを2000名を超える人を対象にしたオンライン調査の結果から示した。



昨年度に引き続きオンラインでの開催となったが、昨年度にはできなかった外部講師の先生を招いての Special Talk を今年度では実施することができたことは良かったと考える。来年度の開催はどうかかわからないが、徐々に以前のような形式に戻していけるように進めていこうと考えている。

(玉川大学脳科学研究所 高岸治人)

最優秀研究賞：寿 秋露

優秀研究賞：小口峰樹、フランシクス A. アガハリ

奨励賞：正岡明浩

Monday, February 21				
Time		Program		
		<i>Opening Remarks</i>		
10:00	10:05	開会宣言 (高岸治人)		
10:05	10:15	玉川大学脳科学ワークショップについて	坂上雅道	脳科学研究所・所長
		<i>Flash Talk for Laboratory Introduction I</i>		
10:15	10:45	相原 威 岩田恵子 大森隆司 小松英彦 酒井 裕 坂上雅道 佐々木哲彦 鮫島和行 高岸治人		
		<i>Oral Session</i>		
10:45	11:00	Investigation on the role of macaque PFC-PPC pathway in the working memory function using DREADDs technique	蔣 嘉森	坂上研究室 D3
11:00	11:15	Emergence of individual difference on prosociality: dynamics of mind and society	寿 秋露	高岸研究室 D2
11:15	11:30	Toward the elucidation of neural dynamics of cortico-basal ganglia circuit during decision making: making a stereotaxic atlas and preliminary Neuropixels recording	杉本翔哉	田中研究室 D2
11:30	11:45	Input frequency depend on information integration in hippocampal granule cells	中島直樹	相原研究室 D2
11:45	12:00	Association between Dopamine Receptor D4 Gene Polymorphism and Individual-Collectivism	李 述氷	高岸研究室 M2
12:00	13:00	Lunch Time		
		<i>Flash Talk for Laboratory Introduction II</i>		
13:00	13:30	磯村宜和 高平小百合 武井智彦 田中康裕 原野健一 松田哲也 松元健二 朝日公哉 川口泰雄		
		<i>Special Talk I</i>		
13:30	14:30	「巧み」な身体運動制御の中脳神経メカニズム	武井智彦	脳科学研究所・准教授
14:30	14:45	Break		
		<i>Special Talk II</i>		
14:45	15:45	集団性の比較認知科学	山本真也	京都大学高等研究院・准教授
15:45	16:00	Break		
		<i>Flash Talk for Poster Session</i>		
16:00	16:05	Connection Selectivity of Layer 2/3 Pyramidal and Somatostatin Cells in Mouse Frontal Cortex	フランシクス A. アガハリ	田中研究室 PD
16:05	16:10	Proselfs depends more on model-based than model-free learning in a non-social probabilistic state-transition task	小口峰樹	坂上研究室・特任准教授
16:10	16:15	Association of polymorphism in arginine-vasopressin receptor gene (AVPR1A) with advantageous inequity aversion	田中大貴	松田研究室 PD
16:15	16:20	Layer 1 inhibitory circuits activated by layer 5 pyramidal cells in the mouse frontal cortex	任 翔燾	田中研究室 PD
16:20	16:25	Neural mechanisms of conscious visual perception in macaque monkey V1 and IT: Evidence from metacontrast masking paradigm	正岡明浩	鮫島研究室 PD
16:25	16:30	Automated and parallelized spike collision tests to identify spike signal projections	箕谷啓太	酒井研究室 PD
16:30	16:35	Behavior extraction of class activities for student's characteristic introspection	宮田真宏	大森研究室 PD
16:35	16:40	Development of applications for health maintenance and rehabilitation of the elderly	武藤ゆみ子	岡田研究室 PD
16:40	16:45	The association between relational mobility, brain structure, and prosociality in adolescents	山田順子	高岸研究室 PD
16:45	16:50	Category formation in macaque lateral prefrontal cortex examined by Utah array	吉岡敏秀	坂上研究室 PD
		<i>Poster session @oVice</i>		
16:50	18:50	Poster presentation and Discussion by all attendee		
		総括と展望		
18:50	19:00	ワークショップの総括&閉会宣言	坂上雅道	脳科学研究所・所長